

生存のすべてを託す、一球のシュートもある。

スポーツマンたちは激しい練習に耐える。それは満足のいくプレーを行うためである。
自らが描いたイメージを、自らの肉体によって実現することが、
彼らの目標であり、彼らのよろこびでもある。
それが無為な行為だとしたら、ロマンと呼んでいいかも知れない。
それこそが、スポーツマンたちの生活そのものであるから。
「アディダス」ハンドボールウェアは、最新の機能で彼らのロマンに応えます。

adidas®

晴れの出場校決まる

第8回全国高校選抜大会

第8回全国高校選抜大会は、いよいよ3月24日から29日までの5日間、愛知県名古屋市で開催される。

晴れの本大会への代表の座目ざして各地で激烈な予選がくり広げられ、2月17日の東海地区の予選を最後に男女の代表校、各25校が勢揃いした。

春の大会は、まだ各チームとも十分に練習　調整ができていないこともあり、大変予想のむずかしい大会だが、各校とも晴れの栄冠目ざして熱戦を展開してくれることだろう。

ここに代表の座を獲得した各校の名を紹介するとともに、各地の予選の結果をまとめてお伝えしておく。

組み合せ表

3／25　3／26　3／27　3／28　3／27　3／26　3／25

（男子の部）	（女子の部）
四日市工（三重）	高松商（香川）
高島（滋賀）	暁（三重）
明星（東京）	昭和学院（千葉）
尾道（広島）	山陽女（広島）
釧路湖陵（北北海道）	郡山女（福島）
学法石川（福島）	四天王寺（大阪）
東山（京都）	彦根商（滋賀）
愛知（開催地）	水海道二（茨城）
新居浜工（愛媛）	有磯（富山）
瓊浦（長崎）	熊本女商（熊本）
小松工（石川）	函館女商（南北海道）
富岡（群馬）	名短大付（愛知）
竹園（茨城）	市邨学園（開催地）
那賀（和歌山）	小松市女（石川）
湯沢（秋田）	国学院栃木（栃木）
八雲（南北海道）	夙川学院（兵庫）
久留米工大付（福岡）	筑紫女（福岡）
中京（愛知）	徳山商（山口）
岩国工（山口）	釧路湖陵（北北海道）
県岐阜商（岐阜）	藤村女（東京）
高松商（香川）	今治商（愛媛）
興南（沖縄）	本巣（岐阜）
都島工（大阪）	大曲農（秋田）
高岡向陵（富山）	佐世保北（京都）
横浜商工（神奈川）	東宇治（京都）

男子の部
- A2：高島－明星
- B2：尾道－釧路湖陵
- Aロ：四日市工－A2
- Bロ：B2－学法石川
- Aイ：Aロ－Bロ
- A4：愛知－新居浜工
- B4：瓊浦－小松工
- Aニ：東山－A4
- Bニ：B4－富岡
- Bイ：Aニ－Bニ
- Aカ：Aイ－Bイ
- A6：那賀－湯沢
- B6：八雲－久留米工大付
- Aヘ：竹園－A6
- Bヘ：B6－中京
- Aエ：Aヘ－Bヘ
- A8：岩国工－県岐阜商
- B8：高松商－興南
- Aチ：A8－B8
- B9：都島工－高岡向陵
- Bチ：B9－横浜商工
- Bエ：Aチ－Bチ
- Bカ：Aエ－Bエ
- B：Aカ－Bカ

女子の部
- A1：暁－昭和学院
- B1：山陽女－郡山女
- Aイ：高松商－A1
- Bイ：B1－四天王寺
- Aア：Aイ－Bイ
- A3：水海道二－有磯
- B3：熊本女商－函館女商
- Aハ：彦根商－A3
- Bハ：B3－名短大付
- Bア：Aハ－Bハ
- Aオ：Aア－Bア
- A5：小松市女－国学院栃木
- B5：夙川学院－筑紫女
- Aホ：市邨学園－A5
- Bホ：B5－徳山商
- Aウ：Aホ－Bホ
- A7：釧路湖陵－藤村女
- B7：今治商－本巣
- Aト：A7－B7
- A9：大曲農－佐世保北
- Bト：A9－東宇治
- Bウ：Aト－Bト
- Bオ：Aウ－Bウ
- A：Aオ－Bオ

代表めざした熱い戦いの跡

全国高校選抜大会地区大会詳報

北北海道

〈男子〉

▼1回戦

留萌 12（7－4、5－7）11 紋別南

北見工 29（14－9、15－4）13 名寄工

釧路商 27（14－4、13－8）12 帯広白葉

▼準決勝

釧路湖陵 22（15－2、7－6）8 留萌

釧路商 22（8－4、14－4）8 北見工

▼決勝

釧路湖陵 24（12－5、12－8）13 釧路商

※釧路湖陵が全国大会出場。

〈女子〉

▼決勝

釧路湖陵 14（4－5、10－3）8 釧路商

※釧路湖陵が全国大会出場。

南北海道

〈男子〉

▼1回戦

札幌南 24（14－4、10－10）14 室蘭工

札幌琴似工 26（13－3、13－7）10 室蘭栄

▼準決勝

八雲 20（9－7、11－9）14 札幌南

札幌琴似工 19（12－4、7－8）12 函館ラサール

▼決勝

八雲 22（12－7、10－10）17 札幌琴似工

※八雲が全国大会出場。

〈女子〉

▼1回戦

恵庭南 17（8－4、9－5）9 函館商

室蘭東 12（7－3、5－1）4 札幌丘珠

▼準決勝

函館女商 19（10－5、9－2）7 恵庭南

上磯 15（10－1、5－4）5 室蘭東

▼決勝

函館女商 16（9－6、7－6）12 上磯

※函館女子商が全国大会出場。

東北

〈男子〉

▼予選Aリーグ

古川工（宮城）27（14－16、13－7）23 真室川（山形）

湯沢（秋田）31（13－12、18－13）25 古川工

湯沢 32（19－10、13－10）20 真室川

［順位］①湯沢（2勝）②古川工（1勝1敗）③真室川（2敗）

▼予選Bリーグ

学法石川（福島）27（11－11、16－7）18 大迫（岩手）

大迫 23（13－10、10－12）22 青森商（青森）

学法石川 31（17－12、14－7）19 青森商

［順位］①学法石川（2勝）②大迫（1勝1敗）③青森商（2敗）

▼決勝リーグ

湯沢 20（12－7、8－13）20 大迫

学法石川 26（12－9、14－9）18 古川工

学法石川 21（10－10、11－9）19 湯沢

大迫 20（7－6、13－7）13 古川工

［順位］①学法石川（4勝）②湯沢（2勝1分1敗）③大迫（2勝1分1敗）④古川工（1勝3敗）（勝敗は予選リーグの記録も含む）※（②—③は得失点による）

※学法石川と湯沢が全国大会出場。

〈女子〉

▼予選Aリーグ

青森西（青森）14（5－6、9－7）13 日大山形（山形）

日大山形 17（4－6、13－9）15 花巻北（岩手）

青森西 18（10－9、8－8）17 花巻北

［順位］①青森西（2勝）②日大山形（1勝1敗）③花巻北（2敗）

▼予選Bリーグ

郡山女（福島）19（8－7、11－10）17 大曲農（秋田）

郡山女 15（6－8、9－2）10 飯野川（宮城）

大曲農 19（10－9、9－6）15 飯野川

［順位］①郡山女（2勝）②大曲農（1勝1敗）③飯野川（2敗）

▼決勝リーグ

大曲農 20（11－6、9－8）14 青森西

郡山女 15（7－4、8－6）10 日大山形

郡山女 22（7－10、15－5）15 青森西

大曲農 20（8－7、12－3）10 日大山形

［順位］①郡山女（4勝）②大曲農（3勝1敗）③青森西（2勝2敗）④日大山形（1勝3敗）（勝敗は予選リーグの記録も含む）

※郡山女と大曲農が全国大会出場。

関東

〈男子〉

▼予選Aリーグ

日川（山梨）25（13－8、12－11）19 川口工（埼玉）

横浜商工（神奈川）25（12－8、13－4）12 市川（千葉）

横浜商工 26（13－7、13－7）14 川口工

日川 19（7－8、12－5）13 市川

川口工 17（8－4、9－6）10 市川

横浜商工 29（15－6、14－1）7 日川

▼予選Bリーグ

竹園（茨城）21（11－9、10－6）15 国学院栃木（栃木）

富岡（群馬）31（15－7、16－8）15 竹園

富岡 21（13－4、8－8）12 国学院栃木

▼3位決定戦

竹園 19（7－9、12－7）16 日川

▼決勝

横浜商工 25（13－7、12－6）13 富岡

※横浜商工、富岡、竹園が全国大会出場。

〈女子〉

▼予選Aリーグ

国学院栃木（栃木）10（6－6、4－3）9 吉井（群馬）



水海道二（茨城）13（7−2, 6−3）5 川崎北（神奈川）
吉井 16（8−5, 8−4）9 川崎北
国学院栃木 15（5−7, 10−3）10 水海道二
水海道二 8（5−1, 3−6）7 吉井
川崎北 15（7−9, 8−5）14 国学院栃木

▼予選Bリーグ
昭和学院（千葉）12（6−4, 6−4）8 山梨（山梨）
山梨 8（5−3, 3−4）7 浦和実（埼玉）
昭和学院 7（2−6, 5−1）7 浦和実

▼3位決定戦
水海道二 16（9−6, 7−1）7 山梨

▼決勝
昭和学院 9（1−2, 8−5）7 国学院栃木

※昭和学院、国学院栃木、水海道二が全国大会出場。

東京都

〈男子〉
▼準決勝
明星 19（9−3, 10−9）12 中大附
日体荏原 27（15−11, 12−4）15 早実

▼決勝
明星 22（13−8, 9−12）20 日体荏原

※明星が全国大会出場。

〈女子〉
▼準決勝
佼成 14（6−2, 8−4）6 神代
藤村女 19（6−6, 8−8, 3−1, 2−2）17 桐朋

▼決勝
藤村女 15（8−7, 7−2）9 佼成

※藤村女が全国大会出場。

東海

〈男子〉
▼リーグ戦
中京（愛知）26（14−5, 12−16）21 静岡東（静岡）
四日市工（三重）22（7−9, 15−6）15 県岐阜商（岐阜）
中京 27（13−6, 14−10）16 県岐阜商
四日市工 21（11−8, 10−9）17 静岡東
中京 24（11−5, 13−9）14 四日市工
県岐阜商 20（8−12, 12−5）17 静岡東

〔順位〕①中京（3勝）②四日市工（2勝1敗）③県岐阜商（1勝2敗）④静岡東（3敗）

※四日市工、県岐阜商が全国大会出場。（中京は愛知県より出場）

〈女子〉
▼リーグ戦
本巣（岐阜）8（3−5, 5−3）8 静岡城北（静岡）
名短付（愛知）12（5−6, 7−3）9 暁（三重）
暁 7（3−3, 4−2）5 静岡城北
名短付 14（7−2, 7−5）7 本巣
名短付 9（4−4, 5−3）7 静岡城北
本巣 11（3−3, 8−1）4 暁

〔順位〕①名短付（3勝）②本巣（1勝1敗1分）③暁（1勝2敗）④静岡城北（2敗1分）

※本巣、暁が全国大会出場、（名短付は愛知県で出場）

愛知県・開催地

〈男子〉
▼決勝リーグ
中京 15（7−6, 8−8）14 愛知
桜台 23（12−6, 11−6）12 旭丘
中京 27（12−7, 15−6）13 旭丘
愛知 23（12−11, 11−9）20 桜台
愛知 19（9−9, 10−7）16 旭丘
中京 26（12−10, 14−13）23 桜台

〔順位〕①中京（3勝）②愛知（2勝一敗）③桜台（1勝2敗）④旭丘（3敗）

※中京、愛知が全国大会出場。

〈女子〉
▼決勝リーグ
名短付 14（6−4, 8−6）10 市邨
緑丘商 10（5−6, 5−3）9 中京女
市邨 14（5−6, 9−0）6 中京女
名短付 9（3−2, 6−4）6 緑丘商
名短付 11（6−2, 5−5）7 中京女
市邨 12（6−5, 6−2）7 緑丘商

〔順位〕①名短付（3勝）②市邨（2勝1敗）③緑丘商（1勝2敗）④中京女（3敗）

※名短付、市邨が全国大会出場。

北信越

〈男子〉
▼リーグ戦
小松工（石川）35（20−5, 15−3）8 柏崎工（新潟）
高岡向陵（富山）36（20−5, 16−8）13 坂城（長野）
金津（福井）30（16−8, 14−6）14 柏崎工
小松工 31（15−5, 16−3）8 坂城
高岡向陵 20（10−9, 10−10）19 金津
金津 23（12−4, 11−3）7 坂城
高岡向陵 27（12−4, 15−4）8 柏崎工
小松工 25（12−4, 13−4）8 金津
柏崎工 21（11−6, 10−4）10 坂城
小松工 24（13−8, 11−3）11 高岡向陵

〔順位〕①小松工（4勝）②高岡向陵（3勝1敗）③金津（2勝2

敗）④柏崎工（1勝3敗）⑤坂城（4敗）
※小松工、高岡向陵が全国大会出場。

〈女子〉

▼リーグ戦

小松市女（石川）24（13-1、11-4）5 塩尻（長野）
有磯（富山）21（14-3、7-4）7 新潟江南（新潟）
福井商（福井）15（10-3、5-5）8 塩尻
小松市女 28（14-2、14-1）3 新潟江南
有磯 16（9-5、7-2）7 福井商
新潟江南 8（4-6、4-0）6 塩尻
小松市女 17（7-1、10-4）5 有磯
福井商 9（5-3、4-3）6 新潟江南
有磯 24（9-6、15-2）8 塩尻
小松市女 20（10-1、10-2）3 福井商

〔順位〕①小松市女（4勝）②有磯（3勝1敗）③福井商（2勝2敗）④新潟江南（1勝3敗）⑤塩尻（4敗）
※小松市女、有磯が全国大会出場。

近畿

〈男子〉

▼1回戦

東山（京都）21（12-9、9-6）15 高島（滋賀）
那賀（和歌山）18（8-4、10-5）9 生駒（奈良）

▼準決勝

東山 25（12-10、13-12）22 西宮東（兵庫）
都島工（大阪）19（7-10、12-4）14 那賀

▼決勝

都島工 17（6-6、11-8）14 東山

▼敗者復活1回戦

西宮東 25（8-5、17-3）8 生駒

▼敗者復活2回戦

高島 17（2-0、0-1、7-8、8-7）16 西宮東

※東山、那賀、高島が全国大会出場。（都島工は大阪府より出場）

〈女子〉

▼1回戦

凤川（兵庫）13（8-1、5-2）3 粉河（和歌山）
彦根商（滋賀）19（11-2、8-3）5 奈良文短附（奈良）

▼準決勝

東宇治（京都）13（11-3、2-7）10 凤川
四天王寺（大阪）17（9-4、8-3）7 彦根商

▼決勝

四天王寺 13（5-1、8-2）3 東宇治

▼敗者復活1回戦

凤川 16（7-6、9-2）8 奈良文短附

▼敗者復活2回戦

凤川 15（7-3、8-4）7 粉河

※東宇治、彦根商、凤川が全国大会出場。（四天王寺は大阪府より出場）

大阪府

〈男子〉

▼準決勝

三島 21（13-8、8-9）17 桃山学院
都島工 24（14-8、10-3）11 春日丘

▼決勝

都島工 21（13-8、8-7）15 三島

※都島工が全国大会出場。

〈女子〉

▼準決勝

宣真 19（11-6、8-3）9 桜宮
四天王寺 11（8-0、3-0）0 大谷

▼決勝

四天王寺 12（6-4、6-2）6 宣真

※四天王寺が全国大会出場。

中国

〈男子〉

▼リーグ戦

境港工（鳥取）24（13-15、11-5）20 川本羽須美（島根）
尾道（広島）22（15-9、7-5）14 倉敷天城（岡山）
岩国工（山口）30（16-10、14-7）17 境港工
倉敷天城 31（20-9、11-8）17 川本羽須美
岩国工 28（15-11、13-10）21 尾道
尾道 16（11-6、5-7）13 境港工
岩国工 32（15-13、17-10）23 倉敷天城
尾道 27（17-1、10-2）3 川本羽須美
倉敷天城 24（11-11、13-11）22 境港工
岩国工 32（18-4、14-8）12 川本羽須美

〔順位〕①岩国工（4勝）②尾道（3勝1敗）③倉敷天城（2勝2敗）④境港工（1勝3敗）⑤川本羽須美（4敗）
※岩国工、尾道が全国大会出場。

〈女子〉

▼決勝リーグ

徳山商（山口）11（4-7、7-2）9 境（鳥取）
山陽女（広島）14（7-7、7-5）12 松江市女（島根）

境 25 {8 17／4 2} 6 落合（岡山）
徳山商 18 {7 11／5 1} 6 松江市女
山陽女 29 {17 12／2 2} 4 落合
山陽女 12 {7 5／6 5} 11 境
松江市女 15 {7 8／3 3} 6 落合
徳山商 17 {8 9／7 6} 13 山陽女
境 18 {8 10／6 1} 7 松江市女
徳山商 25 {11 14／2 7} 9 落合
［順位］①徳山商（4勝）②山陽女（3勝1敗）③境（2勝2敗）④松江市女（1勝3敗）⑤落合（4敗）
※徳山商、山陽女が全国大会出場。



（男子）
▼リーグ戦
高松商（香川）24 {11 13／8 3} 11 池田（徳島）
新居浜工（愛媛）28 {17 11／4 3} 7 土佐（高知）
土佐 20 {11 9／7 6} 13 池田
新居浜工 23 {10 13／9 8} 17 高松商
新居浜工 34 {19 15／7 3} 10 池田
高松商 20 {10 10／9 5} 14 土佐
［順位］①新居浜工（3勝）②高松商（2勝1敗）③土佐（1勝2敗）④池田（3敗）
※新居浜工、高松商が全国大会出場。

（男子）
▼リーグ戦
今治商（愛媛）29 {15 14／1 1} 2 高知西（高知）
高松商（香川）19 {10 9／3 5} 8 富岡東（徳島）
高松商 26 {15 11／3 2} 5 高知西
今治商 25 {15 10／1 8} 9 富岡東
富岡東 17 {10 7／5 5} 10 高知西
今治南 13 {5 8／8 5} 13 高松商
［順位］①今治南（2勝1分）②高松商（2勝1分）③富岡東（1勝2敗）④高知西（3敗）
※今治南、高松商が全国大会に出場。

九州

（男子）
▼1回戦
興南（沖縄）29 {13 16／8 2} 10 鹿児島工（鹿児島）
久工大付（福岡）23 {13 10／7 7} 14 大分電波（大分）
宮崎工（宮崎）23 {8 15／12 9} 21 佐賀農（佐賀）
瓊浦（長崎）30 {17 13／8 9} 17 九州学院（熊本）
▼2回戦
久工大付 22 {11 11／9 6} 15 興南
瓊浦 36 {18 18／8 11} 19 宮崎工
▼3位決定戦
興南 26 {15 11／6 7} 13 宮崎工
▼決勝
久工大付 24 {16 8／8 5} 13 瓊浦
※久留米工大、瓊浦、興南が全国大会に出場。

（女子）
▼1回戦
佐世保北（長崎）11 {7 4／4 4} 8 牧園（鹿児島）
熊本女商（熊本）14 {5 9／5 2} 7 読谷（沖縄）
筑紫女（福岡）12 {7 5／3 4} 7 神埼農（佐賀）
大分東（大分）18 {7 11／7 5} 12 本庄（宮崎）
▼2回戦
熊本女商 16 {8 8／6 5} 11 佐世保北
筑紫女 17 {10 7／5 8} 13 大分東
▼3位決定戦
佐世保北 16 {6 10／6 4} 10 大分東
▼決勝
熊本女商 9 {3 6／5 0} 5 筑紫女
※熊本女子商、佐世保北が全国大会出場。

競技規則改正について

ルール研究委員会

一九八五年〜一九八八年の競技規則が、IHF規則審判委員会より発表され、我国でも一九八五年四月一日より実施される。

今回の競技規則作成にあたり、次の点を留意し改正にあたった。

1。競技規則書全般にわたり言葉使い、表現を簡単にわかりやすく改めた。

2。条文中の(注)、(申し合せ事項)は、競技規則の解説としてまとめた。

3。競技役員の任務と新たに設けた。

4。競技用語の解説を種類別に分けた。

◎主な改正点

今回の改正で条文の新設、入れ替り等で、条文中の(○条○)を参照の部分の変更ははぶいたので、新競技規則書をご覧願いたい。

◎名称の変更

。ゴールラインがエンドラインになる。

。ゴールラインは、ゴールポストの内側のラインのことである。

。交替位置が交替地域になる。

。ストーリングがパッシブプレイに各々変更になった。

◎条文の改正

第2条　競技時間

2：1　標準競技時間でジュニア女子が25分―10―25分になった。

第2文レフェリーは、両チームの主将〜以下を削除する。

2：2　第2文として追加

タイムキーパーの終了の合図の前に行なわれた反則やスポーツマンシップに反する行為は、終了の合図が行なわれてからでもレフェリーにより罰せられる。フリースロー、またはペナルティースローが実施されたあと、これらのスローの結果を確認してからセンターレフェリーは前半終了、あるいは、競技終了の合図をすべきである。

2：4　第3文削除　新たに第3文追加。

競技時間の中断は、タイムキーパーに向かって、両手で頭上に「T」の字型のゼスチャーをし、笛を3回短かく吹いて知らせる。

競技時間中断のあとの競技再開には、常に笛の合図が必要である。

第4条　プレイヤー

4：1　第1文に追加

これらは記録用紙に記載されていなければならない。

4：3　第4文追加

参加資格のないプレイヤーが競技場に入った場合には、相手チームにフリースローが与えられ、そのプレイヤーは失格となる。

4：4　第4文追加

競技時間中断時（タイムアウト）には、レフェリーの許可があった場合のみ交替地域から競技場への入場が許される。（レフェリーゼスチャー18。19）

4：5　第3文、第4文削除。

4：6　新条文。

追加プレイヤーが正当に競技場に入ったときは、このプレイヤーは2分間退場となり、そして競技中のプレイヤー1人（指名退場）を違反したプレイヤーのかわりに2分間退場させねばならない。

退場中のプレイヤーが、その退場時間が終了しないうちに競技場に入った時は、そのプレイヤーは新たに2分間退場となり、そのプレイヤーの残りの退場時間は、他のプレイヤー（指名退場）が退場となる。

チーム責任者はこのとき誰れを退場させるか、白チームのプレイヤーを指名しなければ

ばならない。もしこれが拒否されるような時には、レフェリーが決定する。

4：7　4：6が4：7となる。

第6条　ゴールエリア

6：3　新表現

ゴールエリアへ侵入しても、次の場合は罰せられない。

(a)プレイヤーが、ボールをプレイし終わったあと、ゴールエリア内に侵入し、それによって相手側が不利にならなかったとき。

(b)プレイヤーがボールをもたずに、ゴールエリア内に侵入し、それによって有利にならないとき。

(c)防御プレイヤーが防御をしているとき、または、その後、ゴールエリア内に侵入し、それによって相手が不利にならなかったとき。

第8条　相手に対する動作

8：13　新条文

相手に対する動作（8：4～11）での反則のとき、ボールでなくプレイヤーを対象としている場合には、段階的に罰則を適用しなければならない。

この段階的罰則適用は、スポーツマンシップに反する行為についても適用される。

8：14　新条文

相手に対する動作で、粗暴な違反や、粗暴なスポーツマンシップに反する行為をしたプレイヤーは失格となる。

8：15　新条文

競技場での暴力行為をしたプレイヤーは追放となる。

第11条　スローイン

11：1　第2文削除

第12条　ゴールスロー

12：2　12：3が12：2に変更。

12：3　12：2が12：3に変更。

第15条　レフェリースロー

15：3　第3文追加

ボールがトスされて、その最高点に達したときに競技再開となる。

第16条　各種スローの行ない方

16：5　16：6が16：5に変更。

16：6　16：5が16：6に変更。

第17条　罰則

17：1　(b)新表現

相手に対する動作の違反で罰則が段階的に適用されたとき。

17：2　（原注）第4文追加

レフェリーの許可を得ずにチーム役員が、競技場内に入ったときは（4：4）スポーツマンシップに反る行為として罰せられる。

17：3

(a)不正入場を追加。

(b)新表現。

相手に対する動作の違反で、罰則がくり返して段階的に適用されたとき。

17：7　（原注）追加

暴力行為とは身体的な暴行で、プレイヤー、レフェリー、スコアラー、タイムキーパー、チーム役員、観衆に対して危害を加えることである。

17：11　（原注）追加

スポーツマンシップに反する行為とは、スポーツ精神に反する身体または言葉による侮辱的な言動のことである。

チーム役員がレフェリーの許可なく競技場内に入ることは（4：4）スポーツマンシップに反する行為として罰せられる。

プレイヤー、またはチーム役員による同時に多種にわたる違反行為が（規則違反、反スポーツマン的行為、暴力行為）が発生したときには、もっとも重い罰則を適用すべきである。

17：12　新条文

会場内におけるスポーツマンシップに反する行為、または暴力については、次のように罰する。

競技開始前

(a)スポーツマンシップに反する行為に対しては警告を与える。

(b)粗暴なスポーツマンシップに反する行為や暴力行為に対しては失格させ、チームは12名のプレイヤーで競技できる。

ハーフタイム中

(c)スポーツマンシップに反する行為に対しては警告を与える。

(d)くり返し行なわれるか、粗暴なスポーツマンシップに反する行為に対しては失格させる。

(e)競技終了後

文書により報告する。

第18条　レフェリー

18：3　第4文に追加

レフェリーは、両チームのユニフォームが、規定のものであるかどうかを確認し、記録用紙とプレイヤーの装備を点検する。また両チームの記載されたチーム責任者が、同席しているかどうか、その人物が本人であるかどうかについても確認する。

18：6　第3文に旧原注が入った。

1人のレフェリーが、競技中に事故で退場したときは、残った1人のレフェリーで競技を続行しなければならない。

第19条　スコアラー、タイムキーパー

19：2　(a)(b)(c)の順序入替りと(e)が新追加。

(e)プレイヤーの競技への参加が正確になされているかどうか。（服装、番号、名前、その他）

19：4　第1文、第2文削除。

◎レフェリーのゼスチャー

。チャージング＝変史
一方の手をひらいた状態で頭上にあげ（指先を上にして）他方の手をこぶしにして、ひらいた手のひらを2～3回たたく。

。コート内への立入り＝新追加
タイムアウトの後、両手の手のひらを自分の方に向けて、前腕部の動きを自分自身の方へ手招きのように何回か動かす。

。ゴールキーパーの交替＝新追加
タイムアウトの後、一方の腕を頭上にあげ、指先を上に向け、手首だけ、クルクルとまわす。







◎競技規則の解説

4：6「指名退場」とは
たとえば8人目のプレイヤーとか退場時間が終了していないプレイヤーが、競技場に入ったときに、違反したプレイヤーが2分間退場となり、そのかわりに競技中のプレイヤーを1名指名、退場させる。
指名退場になったプレイヤーは交替することができる。

4：7 各チームは、濃淡のはっきりした区別のできるユニフォームを2着用意しなければならない。
次のようなユニフォームは使用してはならない。
。番号が地色と混同しやすいもの。（縦縞、横縞等が番号と重なって判別しにくいもの）
。フィールドプレイヤーとゴールキーパーが、同一のデザインで、混同しやすいもの。（フィールドプレイヤーの上半分が白色、下半分が赤色に対し、ゴールキーパーの上半分が赤色、下半分が白色など判別しにくいもの）

◎競技の運営

1。競技の準備について
(1)競技場は公式競技を開催する際は、競技規則にしたがって正規の整理された競技場を準備する。
競技場は40ｍ×20ｍである。体育館の照明は800ルックス以上、天井の高さは床上7ｍ以上が必要。
(10)ユニフォームの色
各チームは、濃淡二色のユニフォームを用意する。レフェリーが混乱するユニフォームの色と判断する場合は、組合せ表の番号の小さいチームが濃い色のユニフォームを着用する。
〔ペナルティースローコンテストの方法〕
Ⅱ 使用するゴールはレフェリーが決定する。
両チームの主将と2名のレフェリーが立ち合ってトスを行ない、トスに勝ったチームが、先投か後投を選ぶ。
Ⅲ 追加
退場中、失格、追放のプレイヤーは、参加することができない。
(2) リーグ型 総当りで勝点法により順位を決める方法。
順位決定は、ポイント方式による。勝2、引き合け1、負0とする。
〈順位決定は次の順序で行なう〉
A ポイント数の多いチームが上位となる。
B 同点チームが、2またはそれ以上の場合には、次の方法で順位を決定する。（獲得可能のポイント数の25％に達しないチームは除く）
(a)得失点差の大きい方が上位。
(b)得点数の多いチームが上位。
(c)チーム間の対戦結果（1または複数）勝チームが上位。
C 上記（B）の方法でまだ順位が決定できない場合は、次の方法で決定する。
(a)全競技の得失点差で多いチームが上位。
(b)全競技で総得点の多い方が上位。

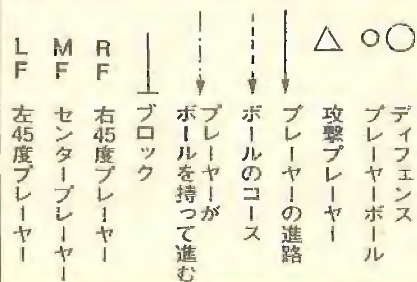
特別寄稿

一線防御型（6－0）における攻撃の展開

攻撃のムダが多い日本チームのための世界の王者の教則本

前ユーゴスラビア男子ナショナルチーム監督
ブラニスラブ・ポクラヤツ

訳　島林　護



第23回ロサンゼルス・オリンピックで、みごと男女共にアベック優勝を果たしたユーゴスラビアハンドボールは、現地点で名実ともに世界のトップレベルに位置づけました。

また、昨年4月に行なわれた第2回ジャパンカップに来日した同男子ナショナルチームの素晴らしいプレーぶりも記憶に新しいかと思います。

その折、監督ブラニスラブ・ポクラヤツ氏に日本ハンドボールの攻撃の印象について聞いたところ「スピード豊かで大変よい」としながらも「これは全体的に言えることだが、プレーの展開に無駄が多い」と指摘されました。

それは、具体的に言えばどういうことかと聞き返したところ、「一言では今は説明できないので、これを参考にして下さい」と一冊の雑誌をプレゼントされました。

それは『スポーツの実践』というもので、その中には彼が投稿した表題の内容が書かれ後日目を通したところ非常に興味あふれるものと思い今回、本誌上をお借りしまして報告させていただきます。

〈訳者〉

理論にかなった攻撃を

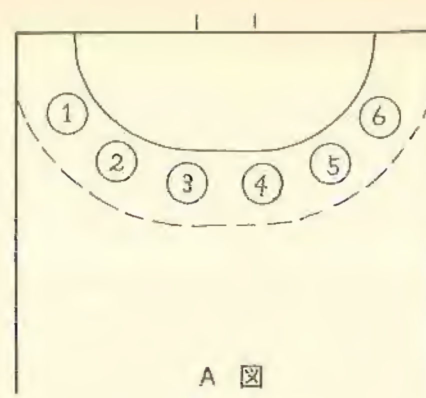
攻撃の練習を行なうとき、まず、相手チームが、どのような防御策であるかを考えなければなりません。

以前は、ただ単に攻撃を繰り返す練習を行ないましたが、現在は、相手の防御手段をよく観察しておいてから、自軍の攻撃策を決めます。

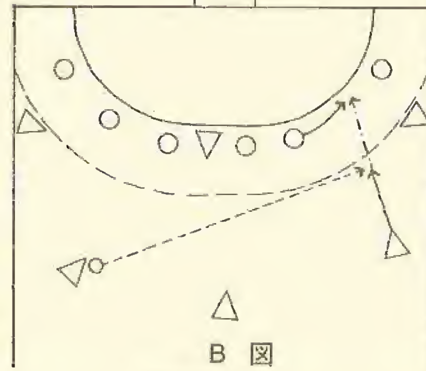
では、その策を見い出すためにはどうするかと言うことですが、まず考えられるのは、多種多様にある防御策に最も有効であると思う攻撃策をいくつか試し、その中から相手防御策に合ったプレー方法を選ぶことです。

しかし、この場合に忘れてはいけない重要な点として、防御する者の動きや、相手防御の型について計算されたもので、いわゆる理論にかなった攻撃でなければ一流とは言えないでしょう。

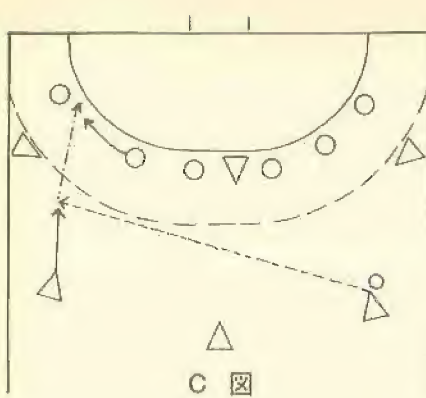
もし、左右45度の選手が互いにボールをダイレクトでパスするならば、②、⑤番の選手は、シュートや6mラインまで割り込む相手選手を防ぐ必要があります。（図B・C）また、そのためには、



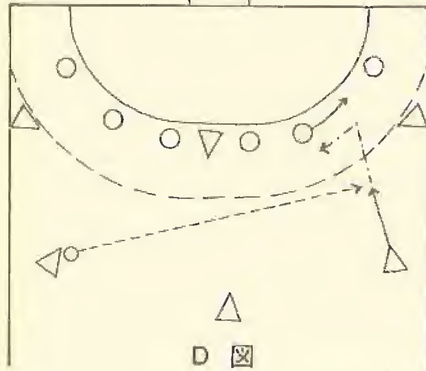
A 図



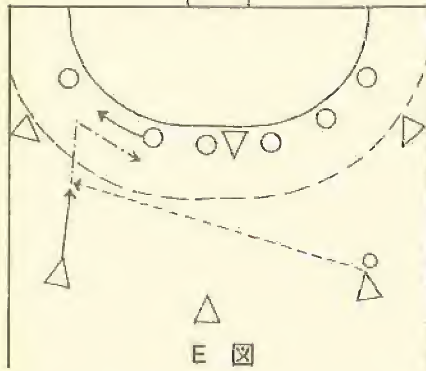
B 図



C 図



D 図



E 図

トップレベルの選手集団といえるナショナルチームのように、名選手の特質や個性を重要視して、攻撃を組み立てる大事な有効性の一つと考えなければなりません。

では、このことを基に、まず攻撃の基本プレーから考えて見ましょう。それは、まず最も弱い場所の防御を崩すセット攻撃を展開することが第一ですね。

この攻撃は、いわゆるセットオフェンス（組立ての攻撃）と呼んでいるもので、唯一解決策（戦略）をもって終局を目ざすものです。

しかし、これじたいには決まった規定と選手をコントロールする原則が含まれていますが、型にはまったフォーメション的な行動ではありません。

また、この行動については、コーチがトレーニングの期間、すなわち練習、あるいは親善試合時のいわゆるチームの調整段階にあれこれと解決要を指示するもので、公式の試合では、各選手の状況判断をもって賢明な解決策を決めることが、最良だと思います。

選手行動の利点、弱点

さて、これから本題である一線防御型における攻撃法について話を進めていきますが、説明の中に防御者の動作で、そのフォーロー的な役割をする他の防御選手の行動については話しません。よってこれらの動きが、すべて基本的な行動に沿ったものだと考えて下さい。

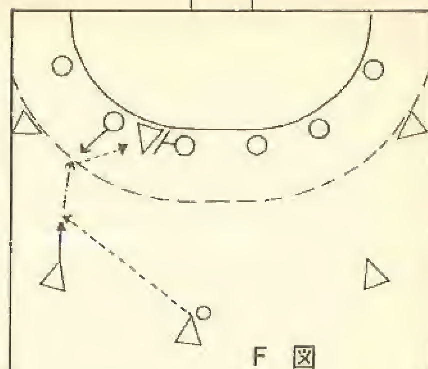
それでは、唯一その防御型に対して理論的な攻撃展開を行ない、話をスムーズに進めるうえにも最も弱い区域だけを中心として、一線型の戦術や技術については話しません。

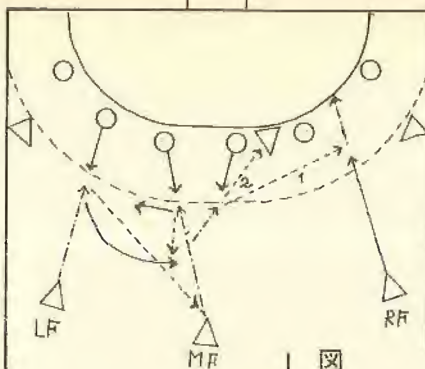
この場合、一線防御型は最高の傾倒と集中力を要求する優れたものですが、二つの詰手というものが考えられます。

一、反対側にボールがある場合に①、②番と⑤、⑥番の選手の区域です。（図A）

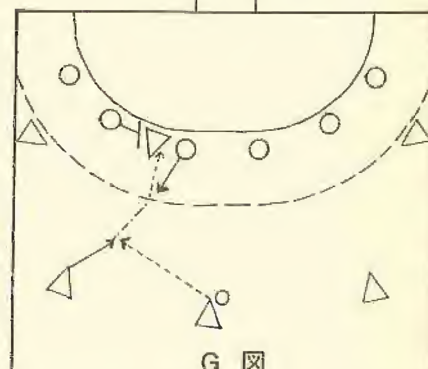
もし、左右45度の選手が互いにボールをダイレクトでパスするならば、②、⑤番の選手は、シュートや6mラインまで割り込む相手選手を防ぐ必要があります。（図B・C）

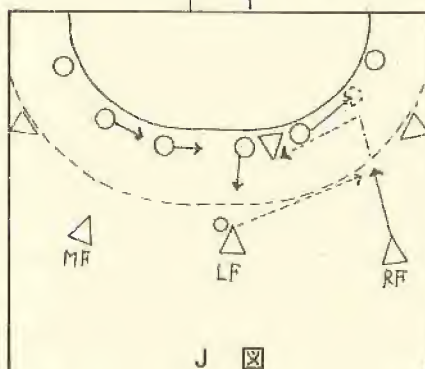
また、そのためには、6mライン付近から最高のスピードで移動しなければなりません。すなわち、これは、②、⑤番の選手が、瞬時に45度の選手を守るために万全の体勢を保つことが


F 図

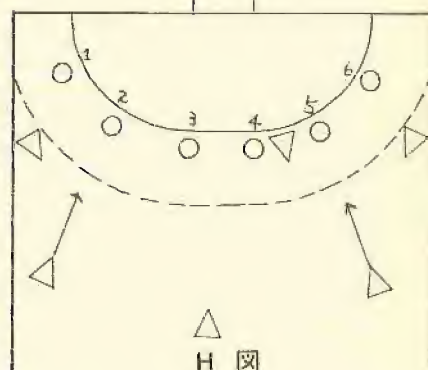


I 図


G 図



J 図



H 図

できないことを意味しています。これは、走る以外に防御の姿勢にないということです。そこには打ち負かすことができる大きな可能性があるといえます。（図D、E）

二、防御の選手の間にポストの選手が常に立つことにあります。

それは、一線防御型には、二人の選手の間にポストの選手を立たせブロックなどを許してはならない原則があるからです。（図F、G）

しかし、この二つのポイントは、決して一線防御型の欠点ではありません。ただ、他の場所よりも弱い位置にあたるだけです。

では、戦略ポイントを表わしましたので、次は、色々な可能な解決策を付け加え、一線防御型における攻撃の基本プレーについて話を進めます。

その前に、みなさんが、これらの行動を一流なものに導こうと思うならば、どんなに特別な解決策の創造が満たされなくても、あるいはゴールを果たすための位置に選手が導いたとしても、ここでは基本プレーの行動を中心にすることが重要なことであって、行動の成否は関係しないことを言っておきます。

さて、その基本プレーとは、まず②、⑤番の選手の方向に45度からの幅広い切り込み＜突進＞をする選手から成ります。（図H）

その後、逆45度から同じ切り込みで終わる選手との「クロス」や「引きずり」ずらして、それに到達します。

では、この「クロス」や「引きずり」から創作できる〝構想〟〝行動の富裕〟を見るために、これらを描写して調べてみましょう。

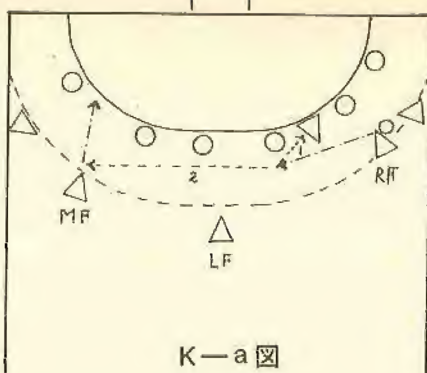
(A) クロス

（図I）で最初の可能性を考えてみます。

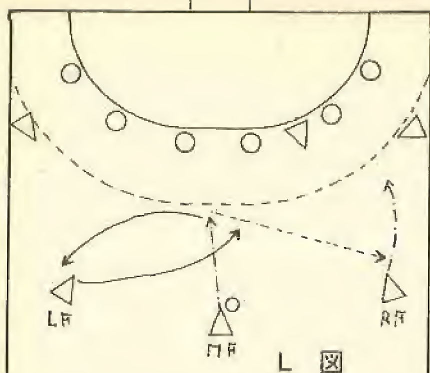
センターの選手の切り込みの後には、ジャンプシュートに及ぶため④番の選手の中央方向に廻り込む左45度の選手とセンターの選手がクロスを行ないます。それは、6mラインにあるポストの選手、あるいは、⑤、⑥番の選手の間に非常に幅広く走り込む右45度の選手にボールをパスする可能性です。

これは、もし⑤番の選手が右45度の選手を襲い、その通過を許さないなら、右45度の選手は、ポストの選手にボールをパスすることでゴールを狙うことができます。（図J）

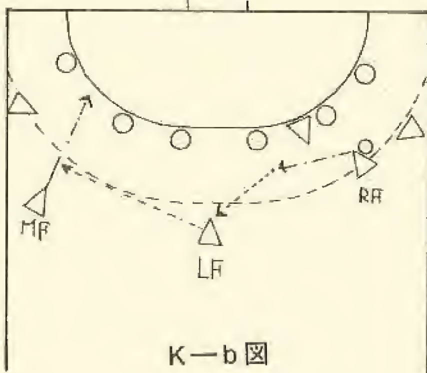
あるいは、再度、ポストの選手にボールをパスすることができる時、中央よりにフェイントをしま



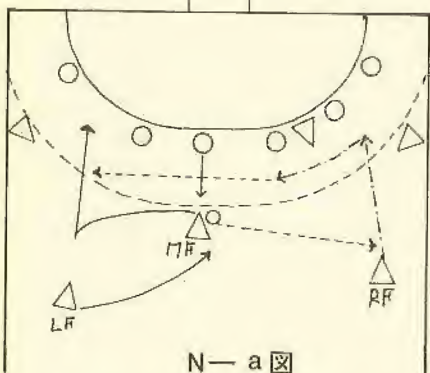
K—a図



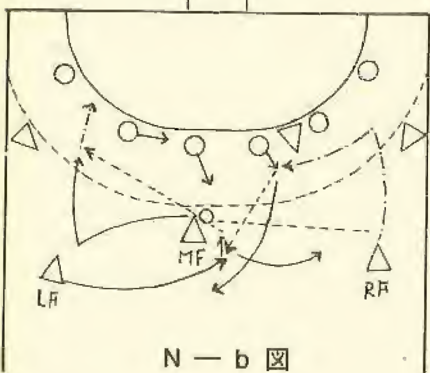
L 図



K—b図



N—a図



N—b図

す。または、幅広い切り込みで再び左45度の位置に現在あるセンターの選手にボールをパスします。（図K—a）

※この行動で大事なことは、より良いワンパスを持ちいなければいけません。

次に、（図K—b）を見て下さい。もし、この可能性を連続して使用したいのならば、右45度の選手が、現在センターの位置にある左45度の選手にボールを戻します。そして、それは①、②番の間に幅広い切り込みに及ぶセンターの選手にパスします。

この様に、切り込みや場所の交替をくり返して行ないます。

引きずり〈ずらし〉

センターの選手は、幅広い切り込みの後、⑤、⑥番の選手の間に切り込みでディフェンスを割っていく右45度の選手にボールをパスします。そして、センターの選手は、左45度の選手と場所を変えます。（図L）

※ここまでの行動が、先に説明した動きと同じ可能性であるということをディフェンスの選手に前もって示します。

そして、右45度の選手は、⑤、⑥番の間に進みます。ここで、右45度の選手は、直接シュート、あるいはポストの選手にボールをパスすることができるし、中央側にフェイントをかけることもできます。

また、これは、フェイントの後、再度ポストの選手や幅広い切り込みで突進するセンターの選手にシュートを打たすことができる行動でもあります。（図N—a）

それから、次に示す行動もより良いワンパスにおいて成し遂げることができます。（図N—b）

それは、右45度の選手が、最初左45度の選手にボールをパスします。そして、左45度の選手は、幅広い切り込みからセンターの選手にボールをパスします。左45度の選手の位置にあるセンターの選手は、①、②番の選手の間を通過、あるいは中央側にフェイントをすることができる可能性を持っています。

ここで、もし、巧みなフェイントを成すならばシュートに持ち込むことができます。しかし、行動がうまくいかない場合は、その始めた同じ方法でプレーを続けます。

センターの選手は、現在右45度の選手の位置にある左45度の選手にボールをパスします。（図M—a）

あるいは、より良い〈速く正確な〉パスを持ってボールをセンター

選手に最初、パスをします。そして、その選手は右45度の位置に来た左45度の選手にボールをパスします。（図M－b）

それ故、直ちにその選手は、通過、もしくはフェイントなどを成すことができます。

しかし、この行動が失敗に終わったとしても、新たな幅広い切り込み、クロス、および引きずりを持って続行します。

O—a図

M — a 図

O—b図

M—b図

一つの攻撃で分離、結合

さて、ここまで、「クロス」と「引きずり」の行動を分けて説明しました。しかし、この二つの行動を、一つの攻撃で同時に分離や結合させることができるミックスのプレーもあります。（図O－a）

それは、幅広い切り込みの後、右45度の選手は、中央の位置にある左45度の選手にボールを返します。

それから、左45度の選手は、①、②番の間に走り込むセンターの選手にボールをパスします。

しかし、センターの選手にシュートする可能性がないなら、センターの選手は、左45度の選手とリターンパスでクロスを行ないます。そして、ボールを⑤、⑥番の間に切り込む右45度の選手に再びボールをパスします。（図O－b）

さて、このような説明からわかるように、離れた位置からの切り込み、クロス、引きずりのコンビネーションの可能性は多大であると思われます。それ故、フォーメーション的な攻撃とは類似しないものです。

この行動を行なうために選手には、切り込み、クロス、引きずりを果たす基礎の原理を継続して求めます。そして、他の大部分の行動にいたっては、選手個人の即興力、創作力、理解力などにまかせます。

しかし、このようなプレー手段を高いレベルの共同行動にもっていくまでには、多くの練習が必要であることを忘れてはいけません。

最後に、この一線防御型における攻撃のポイントを先に二つ述べましたが、その一つのポイントとして防御の選手の間にポストの選手が立つという行動は、この防御型の原則をくつがえす意味で大きなポイントと考えなければなりません。

すなわち、一線防御型に対しては常にポストの二人のディフェンスの間に立つということを忘れてはいけません。

さらに、この攻撃法は、レベルの高いもので、先に説明した攻撃を単に示すようなら今一度、細部の説明を加え、練習をくり返し行なわなければ意味をなさないと思います。

また、今までのこの行動の導きを片側だけで説明してきました。しかし、これらの行動は両側においてプレーできます。それによって可能な解決策の数は二倍になり、より万全なプレーが実在すると考えます。

各地の記録から

第28回京都高校新人大会（11月3日〜25日）

（男子）

▼予選リーグ

○Aゾーン
- 洛水 13—11 京都商
- 城陽 18—9 久御山
- 京都商 19—3 久御山
- 城陽 12—11 大谷
- 京都商 11—11 城陽
- 洛水 15—13 城陽
- 洛水 15—13 久御山
- 京都商 19—18 大谷
- 洛水 17—10 大谷
- 大谷 15—9 久御山

○Bゾーン
- 桂 21—6 平安
- 向陽 21—10 同志社
- 桂 16—8 同志社
- 向陽 24—5 平安
- 向陽 19—11 桂
- 同志社 14—10 平安

○Cゾーン
- 乙訓 23—16 洛北
- 嵯峨野 25—7 北稜
- 乙訓 32—9 北稜
- 洛北 19—6 嵯峨野
- 乙訓 20—11 嵯峨野
- 洛北 30—15 北稜

○Dゾーン
- 北嵯峨 27—12 洛陽工
- 日吉ケ丘 20—8 鴨沂
- 北嵯峨 15—12 日吉ケ丘
- 洛陽工 17—5 鴨沂
- 北嵯峨 22—3 鴨沂
- 日吉ケ丘 13—9 洛陽工

○Eゾーン
- 東山 30—8 洛東
- 京都西 17—15 南八幡
- 洛東 15—9 京都西
- 洛東 27—6 南八幡
- 東山 30—4 京都西
- 東山 41—5 南八幡

○Fゾーン
- 西宇治 31—7 舞鶴工専
- 城南 21—13 伏見工
- 西宇治 33—7 城南
- 舞鶴工専 16—6 伏見工
- 西宇治 21—5 伏見工
- 城南 19—18 舞鶴工専

○Gゾーン
- 塔南 12—8 宇治
- 東宇治 30—9 洛西
- 東宇治 28—5 塔南
- 洛西 33—9 宇治
- 洛西 27—14 塔南
- 東宇治 36—5 宇治

○Hゾーン
- 田辺 30—4 西乙訓
- 桃山 18—16 堀川
- 桃山 16—10 田辺
- 堀川 25—5 西乙訓
- 堀川 12—7 田辺
- 桃山 32—6 西乙訓

▼準決勝リーグ

○Iゾーン
- 乙訓 16—15 桃山
- 東山 22—6 洛水
- 桃山 14—9 洛水
- 東山 22—8 乙訓
- 東山 29—9 桃山
- 乙訓 13—8 洛水

○Kゾーン
- 東宇治 20—12 北嵯峨
- 西宇治 13—11 向陽
- 東宇治 25—6 向陽
- 北嵯峨 14—12 西宇治
- 東宇治 19—19 西宇治
- 向陽 12—8 北嵯峨

▼準決勝
- 東山 28（13—11, 15—7）18 西宇治
- 東宇治 26（13—6, 13—1）7 乙訓

▼決勝
- 東山 26（14—7, 12—7）14 西宇治

（女子）

▼予選リーグ

○ア・ゾーン
- 嵯峨野 13—13 乙訓
- 光華 18—5 桃山
- 光華 20—3 嵯峨野
- 塔南 10—6 桃山
- 嵯峨野 10—7 桃山
- 光華 25—7 塔南
- 乙訓 7—5 桃山
- 光華 18—8 乙訓
- 嵯峨野 11—6 塔南
- 塔南 12—12 乙訓

○イ・ゾーン
- 東稜 18—6 洛東
- 京都女 21—4 久御山
- 久御山 10—9 洛東
- 京都女 20—7 東稜
- 京都女 27—5 洛東
- 東稜 19—2 久御山

○ウ・ゾーン
- 北稜 12—0 西山
- 向陽 18—11 洛水
- 洛水 12—0 西山
- 向陽 40—4 北稜
- 洛水 12—0 北稜
- 向陽 12—0 西山

○エ・ゾーン
- 田辺 15—5 日吉ケ丘
- 北嵯峨 16—2 日吉ケ丘
- 東宇治 25—5 北嵯峨
- 田辺 16—7 北嵯峨
- 東宇治 39—0 日吉ケ丘
- 東宇治 29—4 田辺

○オ・ゾーン
- 桂 7—4 精華
- 洛西 16—9 城陽
- 城陽 6—2 精華
- 洛西 14—6 桂
- 城陽 12—2 桂
- 洛西 15—0 精華

○カ・ゾーン
- 明徳商 12—2 鴨沂
- 洛北 16—10 西宇治
- 明徳商 17—5 洛北
- 西宇治 17—5 鴨沂
- 洛北 13—6 鴨沂
- 明徳商 11—6 西宇治

▼準決勝リーグ

○キ・ゾーン
- 光華 13—6 明徳商
- 向陽 14—7 明徳商
- 向陽 13—13 光華

○ク・ゾーン
- 東宇治 13—13 京都女
- 京都女 22—7 洛西
- 東宇治 21—8 洛西

▼準決勝
- 東宇治 6（2—0, 4—3）3 向陽
- 京都女 21（3—0, 4—1, 6—5, 8—9）15 光華

▼決勝
- 東宇治 11（5—3, 6—4）7 京都女

第36回大阪府高校新人大会

◎南地区予選（11月4、11、17、18日）

〈男子〉

▼1回戦
泉北 21－17 信太
大商大堺 22－14 和泉
鳳 18－8 堺工
岸和田 18－12 和泉工
泉大津 19－19 上神谷（3PTC2）
貝塚南 17－16 初芝
岸和田産 キケン 佐野工
泉鳥取 11－11 境東（1PTC0）
高石 27－12 堺西

▼2回戦
泉陽 14－14 大商大堺（2PTC0）
岸和田 27－8 鳳
泉大津 26－8 長野
貝塚南 33－20 久米田
三国丘 18－15 泉北
岸和田産 23－14 金岡
富田林 17－13 泉鳥取
高石 19－19 登美丘（3PTC2）

▼3回戦
泉陽 13－11 岸和田
貝塚南 20－17 泉大津
三国丘 21－11 岸和田産
高石 24－12 富田林

▼準決勝
泉陽 15－8 貝塚南
高石 16－16 三国丘（1PTC0）

▼決勝
高石 11－8 泉陽

〈女子〉

▼1回戦
長野 11－11 鳳（4PTC3）
貝塚南 21－5 千代田
住吉学園 32－3 岸和田

▼2回戦
久米田 18－5 長野
初芝 19－3 信太
高石 12－2 堺東
貝塚南 24－6 東百舌鳥
三国丘 17－4 伯太
和泉 20－16 泉鳥取
岸和田産 19－1 上神谷
住吉学園 19－1 泉大津

▼3回戦
初芝 9－6 久米田
貝塚南 17－2 高石
三国丘 9－7 和泉
住吉学園 26－5 岸和田産

▼準決勝
初芝 14－4 貝塚南
住吉学園 22－3 三国丘

▼決勝
住吉学園 21－5 初芝

◎北地区予選（11月3、4、10、18日）

〈男子〉

▼1回戦
吹田東 28－15 園芸
桜宮 19－17 大阪東
池田 18－13 千里
桜塚 13－12 北淀
北陽 38－7 箕面学園
市岡 31－15 東豊中
豊島 16－11 扇町

▼2回戦
都島工 17－11 桜宮
池田 24－8 渋谷
箕面 22－18 桜塚
北陽 29－10 大阪学院
市岡 28－6 池田北
豊中 20－17 北野
東淀川 19－9 豊島
吹田東 24－14 追手門

▼3回戦
都島工 33－7 池田
北陽 27－8 箕面
豊中 20－14 市岡
東淀川 23－8 吹田東

▼準決勝
都島工 18－15 北陽
豊中 15－12 東淀川

▼決勝
都島工 42－7 豊中

〈女子〉

▼1回戦
福島女 14－8 北野
薫英 15－8 金蘭会
箕面 8－6 池田
渋谷 キケン 成蹊
扇町 17－12 東淀川
西淀川 キケン 北淀

▼2回戦
桜宮 13－9 福島女
薫英 14－10 桜塚
市岡 27－2 東豊中
箕面 10－8 刀根山
豊島 23－7 渋谷
梅花 6－6 千里（2PTC1）
宣真 40－3 扇町
豊中 7－6 西淀川

▼3回戦
桜宮 14－8 薫英
箕面 9－8 市岡
豊島 7－6 梅花
宣真 20－3 豊中

▼準決勝
桜宮 16－8 箕面
宣真 18－10 豊島

▼決勝
宣真 14－2 桜宮

◎東地区予選（11月3、4、10日）

〈男子〉

▼1回戦
西寝屋川 29－11 茨木東
城東工 没収 関西大倉
浪商 14－14 四条畷（3PTC2）
加納 19－11 長尾
枚方 キケン 食品産業
摂津 41－2 牧野
春日丘 16－10 芥川
同志社香里 16－11 高槻北
島本 14－10 門真南
淀川工 39－4 守口北
磯島 21－11 大東
三島 27－11 交野

▼2回戦
浪商 19－9 城東工
西寝屋川 19－18 寝屋川
加納 32－13 枚方
摂津 37－8 南寝屋川
春日丘 31－11 島工
島本 17－16 同志社香里
淀川工 18－11 磯島
三島 36－5 茨木

▼3回戦
西寝屋川 21－18 浪商
加納 21－18 摂津
春日丘 27－8 島本
三島 13－9 淀川工

▼準決勝
加納 17－14 西寝屋川
三島 22－11 春日丘

▼決勝
三島 27－13 加納

◎中地区予選（11月4、13、14、17、18日）

〈男子〉

▼1回戦
桃山学院 30－11 阪南
東住吉 18－12 八尾東

花園 27－14 藤井寺工
生野 21－18 住吉
上宮 36－12 柏原
八尾 23－13 羽曳野
清風 30－7 勝山
此花学院 32－7 大和川

▼2回戦
桃山学院 43－6 大教大平野
天王寺 15－13 東住吉
花園 31－10 高津
生野 21－13 池島
上宮 27－13 藤井寺
八尾 38－17 山本
清風 27－5 阿倍野
此花学院 42－1 大商大附

▼3回戦
桃山学院 24－16 天王寺
生野 19－18 花園
上宮 15－14 八尾
此花学院 28－9 清風

▼準決勝
桃山学院 32－13 上宮
此花学院 27－13 生野

▼決勝
桃山学院 24－23 此花学院

（女子）

▼1回戦
城南 23－0 西浦
信愛女学院 17－2 東大阪
大谷 22－2 山本
阪南 17－6 高津

▼2回戦
四天王寺 17－3 城南
住吉 16－5 池島
信愛女学院 キケン 樟蔭東
大谷 14－8 大和川
天王寺 17－5 八尾東
生野 12－8 藤井寺
阪南 12－8 八尾

▼3回戦
四天王寺 28－2 東住吉
住吉 12－9 信愛女学院
大谷 12－4 天王寺
阪南 18－9 生野

▼準決勝
四天王寺 24－6 住吉
阪南 12－6 大谷

▼決勝
四天王寺 25－4 阪南

◎中央大会（11月23、24、25日）

（男子）

▼1回戦
北陽 25－16 西寝屋川
桃山学院 23－16 加納
三島 25－6 三国丘
上宮 25－15 生野
都島工 15－14 此花学院
泉陽 9－9 貝塚南（PTC 1－0）
豊中 17－15 高石
春日丘 24－14 東淀川

▼2回戦
桃山学院 19－13 北陽
三島 24－5 上宮
都島工 27－5 泉陽
春日丘 22－15 豊中

▼準決勝
三島 21－17 桃山学院
都島工 24－11 春日丘

▼決勝
都島工 21（13－7、8－8）15 三島

（女子）

▼1回戦
桜宮 13－10 初芝
貝塚南 8－4 箕面
宣真 26－4 豊島
摂津 16－3 守口
阪南 16－9 東寝屋川
四天王寺 16－7 住吉学園
大谷 10－6 三国丘

▼2回戦
西寝屋川 16－7 住吉
桜宮 10－5 貝塚南
宣真 19－11 摂津
四天王寺 19－5 阪南
大谷 10－7 西寝屋川

▼準決勝
宣真 19－9 桜宮
四天王寺 11－0 大谷

▼決勝
四天王寺 12（6－4、6－2）6 宣真

第5回山陰選抜選手権

（11月25日）

（一般男子）

▼1回戦
アシックスク 32－19 朝酌ク
江津ク 25－20 中部ク

▼決勝
アシックスク 30（13－7、17－8）15 江津ク

（一般女子）

▼決勝
アシックスク 29（12－6、17－4）10 松江ク

（高校男子）

▼決勝
堺 24（11－6、13－4）10 川本羽須美分

（高校女子）

▼決勝
堺 12（7－3、5－5）8 松江市女

埼玉県高校新人選

（11月17、18、23、24、25日）

（男子）

▼1回戦
志木 20－11 桶川
戸田 18－16 埼玉第一
北本 23－10 川越工
県坂戸 22－17 大宮北
春日部 21－18 富士見
埼玉栄 22－11 小松原
草加 43－10 菖蒲
朝霞西 31－14 上尾南
和光 12－0 越谷西
越谷南 20－17 上尾沼南
城西川越 21－13 城北埼玉
羽生第一 26－14 朝霞
筑波大坂戸 28－10 所沢北
秩父農工 18－13 秩父
西武台 23－16 狭山
春日部工 31－14 春日部東
上尾東 19－19 熊谷（PTC 1－0）
草加東 16－16 浦和市立（PTC 6－5）
宮代 26－25 聖望学園
大宮 51－22 浦和工
川口青陵 48－4 三郷北
庄和 26－20 伊奈学園
春日部共栄 35－8 鴻巣
大井 23－16 桶川西
大宮南 27－11 岩槻

▼1回戦
浦和実 30－3 志木
戸田 20－16 北本
県坂戸 22－16 春日部
埼玉栄 33－25 草加
浦和西 30－14 朝霞西
和光 26－22 越谷南
城西川越 17－15 羽生第一
浦和学院 33－12 筑波大坂戸
川口工 46－7 秩父農工
春日部工 23－16 西武台
草加東 22－14 上尾東
川口東 39－10 宮代
浦和南 26－13 大宮
川口青陵 43－3 庄和
春日部共栄 27－12 大井

川口北 32-7 大宮南

▼3回戦

浦和実 30-6 戸田
埼玉栄 45-9 県坂戸
浦和西 23-10 和光
浦和学院 34-11 城西川越
川口工 25-12 春日部工
草加東 23-19 川口東
川口青陵 21-18 浦和南
川口北 32-14 春日部共栄

▼準々決勝

浦和実 27-19 埼玉栄
浦和学院 23-17 浦和西
川口工 28-12 草加東
川口北 27-15 川口青陵

▼準決勝

浦和学院 15-14 浦和実
川口工 18-15 川口北

▼3位決定戦

川口工 19-16 浦和実

▼決勝

川口工 18（11-7、7-4）11 浦和学院

〈女子〉

▼1回戦

浦和西 22-9 浦和学院
上尾沼南 7-5 志木
深谷第一 11-7 草加南
上尾南 23-3 大宮武蔵野
熊谷商 21-17 秩父
三郷北 13-7 大宮北

▼2回戦

川口女 15-12 浦和西
熊谷女 17-9 越谷南
伊奈学園 16-4 北本
浦和南 14-8 上尾沼南
川口青陵 30-3 筑波大阪戸
川口東 13-9 庄和
春日部共栄 7-0 秋草学園
八潮 36-7 深谷第一
浦和実 19-4 上尾南
浦和商 18-10 小松原
羽生第一 20-7 浦和市立
草加東 35-3 大宮南
行田女 40-4 熊谷商
大宮開成 17-13 春日部東
埼玉第一 15-5 和光
川口北 21-6 三郷北

▼3回戦

川口女 34-3 熊谷女
浦和南 14-9 伊奈学園
川口青陵 16-7 川口東
八潮 20-13 春日部共栄
浦和実 33-5 浦和商
羽生第一 11-11（2 PTC 0）草加東
行田女 21-7 大宮開成
川口北 15-6 埼玉第一

▼準々決勝

川口女 23-7 浦和南
川口青陵 31-14 八潮
浦和実 23-6 羽生第一
行田女 17-9 川口北

▼準決勝

川口女 11-5 川口青陵
浦和実 13-6 行田女

▼3位決定戦

行田女 16-6 川口青陵

▼決勝

浦和実 17（12-7、5-6）13 川口女

神奈川県高校新人大会

（10月28日、11月3、4、18日）

〈男子〉

▼1回戦

和泉 24-5 西湘
鶴嶺 19-15 相模台工
向上 20-11 秦野
柏陽 29-8 北陵
百合ケ丘 17-12 綾瀬
相工大 20-9 生田東
横浜商大 22-3 逗子
平沼 19-9 緑ケ丘
市立南 26-4 新栄
浅野 16-8 藤沢北
新城 12-4 相武台
川和 16-6 科学技
大岡 18-8 厚木東
県相模原 15-13 市川工
菅 16-7 愛川
大和南 29-9 大和
上溝南 16-11 桜丘
翠嵐 37-4 上溝
瀬谷 26-9 栗原
霧ケ丘 13-10 上鶴間
県商工 22-13 市立東
湘南 キケン 座間
希望ケ丘 40-2 三浦

▼2回戦

和泉 15-14 法政二
柿生 25-8 鶴嶺
立野 キケン 荏田
向上 18-10 桐光
柏陽 20-19 県川崎
光陵 18-12 有馬
横須賀学園 17-8 藤沢西
川崎北 19-12 百合ケ丘
桐蔭 24-10 相工大
七里ケ浜 キケン 港北
弥栄西 13-12 横浜商大
鎌倉学園 27-9 平沼
神奈川工 14-10 市立南
湘南 22-12 久里浜
浅野 18-17 大清水
多摩 21-11 新城
川和 11-9 慶応
大岡 12-11 城山
戸塚 キケン 富岡
県相模原 16-14 磯子
江南 23-10 菅
大和南 キケン 大沢
伊志田 16-15 県鎌倉
日野 15-13 上溝南
翠嵐 11-10 生田
住吉 19-16 松陽
瀬谷 17-13 麻溝台
霧ケ丘 16-15 清水ケ丘
金井 16-13 県商工
五領ケ台 23-16 岡津
湘南 24-6 大津
横浜商工 22-10 希望ケ丘

▼3回戦

和泉 24-17 柿生
向上 20-10 立野
柏陽 12-12（PTC）光陵
川崎北 7-6 横須賀学園
桐蔭 21-11 七里ケ浜
鎌倉学園 20-13 弥栄西
神奈川工 18-13 湘南
多摩 25-15 浅野
川和 14-12 大岡
県相模原 16-9 戸塚
大和南 8-8（PTC）江南
日野 18-13 伊志田
翠嵐 27-8 住吉
瀬谷 25-3 霞ケ丘
金井 26-9 五領ケ台
横浜商工 31-4 湘南

▼準々決勝

和泉 21-13 川崎北
多摩 23-14 桐蔭
川和 16-14 日野
横浜商工 35-13 翠嵐

▼準決勝

多摩 24-17 和泉
横浜商工 20-14 川和

▼3位決定戦

和泉 13-12 川和

▼決勝

横浜商工 26（14-9、12-9）18 多摩

〈女子〉

▼1回戦

明倫	27－11	秦野
清水ケ丘	15－12	高浜
鶴見	11－8	霧ケ丘
県川崎	14－7	藤沢北
麻溝台	14－10	上溝南
大津	キケン	橋本
上溝	14－8	厚木東
和泉	17－4	大沢
多摩	15－3	松陽
金井	20－3	湘南
七里ケ浜	8－6	市川崎
相武台	17－11	藤沢西
大和南	19－3	戸塚
有馬	15－4	高木女
翠嵐	11－5	港北
県商工	13－6	五領ケ台
高津	21－5	城山
希望ケ丘	21－2	川和
瀬谷	16－5	鶴嶺
平塚江南	13－6	座間
北陵	14－1	大和
菅	13－5	大岡
日野	10－4	北鎌倉
成美	12－5	生田東
川崎北	10－0	逗子
平沼	13－9	新城
弥栄西	16－11	岡津
桜ケ丘	10－7	厚木商
市立南	14－8	立野
富岡	11－2	市立東
百合ケ丘	14－6	県相模原
生田	20－10	上鶴間

▼2回戦

明倫	23－2	清水ケ丘
県川崎	16－9	鶴見
大津	18－3	麻溝台
和泉	22－12	上溝
金井	18－9	多摩
相武台	24－5	七里ケ浜
有馬	14－6	大和南
県商工	14－6	翠嵐
高津	8－7	希望ケ丘
平塚江南	12－9	瀬谷
北陵	15－6	菅
生田東	25－4	日野
川崎北	30－5	平沼
弥栄西	18－8	桜ケ丘
富岡	16－5	市立南
生田	11－10	百合ケ丘

▼3回戦

明倫	15－5	県川崎
大津	9－5	和泉
金井	20－8	相武台
有馬	15－8	県商工
高津	22－5	平塚江南
成美	21－1	北陵
川崎北	25－10	弥栄西
生田	14－9	富岡

▼準々決勝

大津	10－8	明倫
金井	22－7	有馬
成美	11－10	高津
川崎北	19－2	生田

▼準決勝

大津	12－10	金井
川崎北	13－7	成美

▼3位決定戦

成美	22－22 (4 PTC 3)	金井

▼決勝

大津	6 (2－3, 4－2) 5	川崎北

神奈川県社会人秋季大会

（10月28日、11月4、18日）

〈男子〉

▼1回戦

百合ケ丘	27－14	桐蔭高専
日本発条	41－15	NEC
相友ク	22－20	厚木商OB
藤沢西ク	21－10	向ク
スカイラーク	24－22	桐球会
市消防局	19－17	厚木航空隊
自衛隊久里浜	24－20	東ク
NECポン	22－19	旭ク

▼2回戦

コツ		
セントラル	37－12	百合ケ丘ク
自動車		
日本発条	32－7	日立横浜
鉄ク	26－18	相友ク
藤沢西ク	19－16	金井ク
スカイラーク	23－21	三春台ク
蒔田ク	28－16	市消防局
自衛隊久里浜	22－18	柿生ク
NECポン	26－24	法二ク

▼3回戦

コツ		
セントラル	28－17	日本発条
自動車		
藤沢西ク	20－18	鉄ク
蒔田ク	28－20	スカイラーク
NECポン	23－19	自衛隊久里浜

▼準決勝

コツ		
セントラル	29－16	藤沢西ク
自動車		
蒔田ク	31－21	NECポン
		コツ

▼決勝

セントラル	26 (12－10, 14－7) 17	蒔田ク

〈女子〉

▼1回戦

保土ケ谷ク	キケン	相模セブンスターズ
東ク	8－6	旭ク

▼2回戦

教員ク	31－4	ペリカンク

▼決勝

保土ケ谷ク	17－5	東ク
教員ク	21 (10－7, 11－5) 12	保土ケ谷ク

第36回長崎県民体育大会

（11月3日、4日）

〈一般男子〉

▼1回戦

長崎	41－12	大村
佐世保	キケン	南高

▼決勝

佐世保	24 (12－10, 12－12) 22	長崎

〈一般女子〉

▼リーグ戦

佐世保	12－5	島原
島原	12－9	長崎
佐世保	17－8	長崎

第3回長崎県中学新人大会

［順位］①佐世保②長崎③島原

（11月3、4日）

〈男子〉

▼1回戦

時津	39－9	大野
大瀬戸	30－11	戸町

▼決勝

大瀬戸	22 (12－8, 10－10) 18	時津

〈女子〉

▼1回戦

大野	10－4	日宇
柚木	11－7	相浦

▼準決勝

大瀬戸	17－14	大野
長崎	11－5	柚木

▼決勝

大瀬戸	25 (11－4, 14－4) 8	長崎

第11回北信越学生選手権

（11月10、11日）

▼1回戦

▼準決勝
- 金沢大 27－17 福井大
- 金沢工大 35－11 信州大

- 金沢大 不戦勝 北陸大
- 金沢工大 25－15 富山大

▼決勝
- 金沢大 29（17－12、12－14）26 金沢工大

石川県高校新人大会

（11月15～18日）

〈男子〉

▼予選リーグ

○Aグループ
- 向陽 19－9 県工
- 小松工 33－17 小松商
- 小松商 21－18 県工
- 小松工 36－8 向陽

○Bグループ
- 金沢市工 22－9 錦丘
- 小松 26－9 羽咋
- 羽咋 22－12 錦丘
- 小松 17－12 金沢市工

○Cグループ
- 泉丘 31－15 寺井
- 星稜 32－11 松任
- 寺井 25－6 松任
- 泉丘 22－16 星稜

○Dグループ
- 金沢二水 18－13 金沢商
- 小松明峰 35－11 松陵工
- 金沢商 25－17 松陵工
- 小松明峰 25－12 金沢二水

▼決勝トーナメント1回戦
- 金沢商 19－9 星稜
- 金沢二水 24－9 寺井
- 小松商 15－9 金沢市工
- 羽咋 12－11 向陽

▼2回戦
- 小松工 31－16 金沢商
- 小松 23－10 金沢二水
- 小松商 23－21 泉丘
- 小松明峰 24－7 羽咋

▼準決勝
- 小松工 16－10 小松
- 小松明峰 34－16 小松商

▼決勝
- 小松工 19（8－4、11－7）11 小松明峰

〈女子〉

▼予選リーグ

○Eグループ
- 金沢商 25－0 松任
- 寺井 33－4 星稜
- 星稜 8－7 松任
- 寺井 10－4 金沢商

○Fグループ
- 小松市女 13－4 小松商
- 小松明峰 25－3 短大高
- 小松商 27－4 短大高
- 小松市女 18－5 小松明峰

▼決勝トーナメント1回戦
- 小松明峰 21－4 星稜
- 小松商 22－1 金沢商

▼準決勝
- 小松明峰 10－5 寺井
- 小松市女 7－4 小松商

▼決勝
- 小松市女 26（12－0、14－0）0 小松明峰

群馬県高校新人大会

（12月16、22、23日）

〈男子〉

▼決勝リーグ
- 前橋商 18－12 吉井
- 富岡 25－12 桐生工
- 前橋 24－17 下仁田
- 前橋商 21－19 桐生工
- 吉井 24－20 下仁田
- 富岡 21－8 前橋
- 前橋 19－16 桐生工
- 前橋 29－11 下仁田
- 富岡 29－13 吉井
- 前橋商 14－10 前橋
- 吉井 27－20 桐生工
- 富岡 27－11 下仁田
- 下仁田 21－16 桐生工
- 吉井 25－20 前橋
- 富岡 21－11 前橋商

〔順位〕①富岡②前橋商③吉井④前橋⑤下仁田⑥桐生工

〈女子〉

▼リーグ戦
- 佐藤 15－13 桐生女
- 吉井 15－3 群馬女
- 下仁田 9－7 桐生女
- 高崎市女 13－10 佐藤
- 群馬女 18－8 高崎市女
- 吉井 18－12 下仁田
- 高崎市女 8－7 桐生女
- 吉井 15－8 高崎市女
- 群馬女 18－3 桐生女
- 下仁田 13－12 佐藤
- 吉井 21－5 桐生女
- 群馬女 15－5 下仁田
- 吉井 22－6 佐藤
- 下仁田 14－11 高崎市女
- 群馬女 24－6 佐藤

〔順位〕①吉井②群馬女③下仁田④高崎市女⑤佐藤⑥桐生女

第34回青森県高校秋季選手権

（11月17、18日）

〈男子〉

▼1回戦
- 青森南 36－7 弘前南
- 十和田工 21－17 鰺沢
- 三本木 27－12 青森
- 野辺地 31－17 柏木農
- 青森東 26－10 野辺地工
- 野辺地横浜分 23－15 今別

▼2回戦
- 七戸 25－20 青森南
- 三本木 21－15 十和田工
- 野辺地 22－15 青森東
- 青森商 43－13 野辺地横浜分

▼準決勝
- 三本木 12－10 七戸
- 青森商 23－11 野辺地

▼決勝
- 青森商 28（13－13、15－9）22 三本木

〈女子〉

▼1回戦
- 青森東 20－1 三本木
- 青森商 20－15 青森中央

▼準決勝
- 青森西 22－10 青森東
- 青森商 15－12 野辺地

▼3位決定戦
- 野辺地 17－3 青森東

▼決勝
- 青森西 16（7－6、9－5）11 青森商

中国五大学学生冬季大会

（11月17、18日）

▼リーグ戦
- 山口大 25－20 岡山大
- 山口大 21－19 広島大
- 山口大 38－25 島根大
- 山口大 42－23 鳥取大
- 広島大 31－25 鳥取大
- 広島大 20－19 岡山大
- 広島大 23－23 島根大
- 岡山大 29－16 島根大
- 岡山大 29－18 鳥取大
- 島根大 33－30 鳥取大

〔順位〕①山口大②広島大③岡山大④島根大⑤鳥取大

第24回秋田県総合選手権

（11月23日～25日）

〈男子〉

▼1回戦
- 湯沢ク 32－26 平和自動車
- 大曲高 24－15 湯沢高稲川
- ばっけク 24－15 秋田ク
- 大農OBク 31－24 農業短大
- 秋田大 15－11 横手高
- 大曲農高 40－8 秋南ク
- 羽後高 33－19 大曲ク
- 湯沢高 30－21 VSOP

▼2回戦
- 湯沢ク 30－23 大曲高
- 大農OBク 26－13 ばっけク
- 大曲農高 26－16 秋田大
- 湯沢高 27－17 羽後高

▼準決勝
- 湯沢ク 26－16 大農OBク
- 湯沢高 23－19 大曲農高

▼決勝
- 湯沢ク 33（15－14、18－13）27 湯沢高

〈女子〉

▼1回戦
- 全和洋 17－8 横手東高
- 大曲スポーツ 17－10 湯沢高

▼準決勝
- 全和洋 11－10 大曲農高
- 大曲スポーツ 16－11 和洋女高

▼決勝
- 大曲スポーツ 14（4－4、6－6、1－3、3－0）13 全和洋


molten
official
size
weight
MTH3
molten




イヨ!
いつでもどこでも誰にでも打てる
初めての日本語パーソナルライター。
¥88,000
新登場



告知板

３月～５月のイベント

○59年度全国高校選抜大会
（３月24日～28日・愛知県立体育館）

○第26回全日本実業団選手権大会
（男子：５月10日～12日・愛知県体育館）
（女子：５月８日～10日・大阪市中央体育館）

日本男子ジュニア ヨーロッパに強化遠征

今年の12月7日からイタリアで開催される第5回世界男子ジュニア選手権に向けて、日本のジュニア・ナショナルチームがヨーロッパに向けて強化遠征を行なうことになった。

日程は、3月4日に出発、ユーゴで5試合、西ドイツで3試合を行なって、3月21日に帰国の予定。

遠征に参加するメンバーは、以下の通り。

◎監督
本田洋（日本協会男子ジュニア監督）

◎コーチ
早川清孝（日本協会男子ジュニアコーチ）

◎選手
▼GK　秋吉哲男（大同特殊鋼）、橋本行弘（本田技研鈴鹿）、高橋克巳（氷見高校）
▼FP　藤井孝一（法政大学）、武田大伸（日本大学）、名取和成（大同特殊鋼）、今村伸吾（中部大学）、首藤信一（大崎電気）、山野忠一（本田技研鈴鹿）、上山和弘（日鉄建材）、橋本二次夫（日本体育大学）、甲斐章義（久留米工付属高校）、滝沢勝（浦和実業学園高校）、野田祐一（筑波大学）、新井友彦（浦和実業学園高校）、坂口俊幸（下松工業高校）、斉藤成行（国士館大学）

全日本男子ナショナル 第12次強化合宿

全日本男子ナショナルチームは3月16日から20日までの5日間、第12次強化合宿を行なう予定である。2月20日現在場所は未定。

日本男子ジュニア 第3回ホンコン招待大会に参加

第3回ホンコンハンドボール招待大会が、4月5日から7日までの3日間、香港ビクトリア公園ハンドボールコートで開催される。

日本男子ジュニアチームをこの大会に参加する予定で、4月4日に出発、8日に帰国の予定である。

日本女子ジュニア チュンチェンカップに参加

1985年チェンチェンカップは、4月16日から22日まで台北市で開催される。

日本女子ジュニアチームは、この大会に参加する予定で、4月15日に出発、22日に帰国の予定である。

あなたもハンドボール歴史人……

(財)日本ハンドボール協会は、1987年２月に創立50周年を迎え、記念事業として「日本ハンドボール史」を刊行いたします。
1922年(大正11年)から1964年(昭和39年)までのハンドボールに関する資料、写真、文献をお持ちのかた、ご協力下さい。
連絡は、〒150 東京都渋谷区神南1-1-1 (財)日本ハンドボール協会　TEL 03-481-2361

賛助会通信

賛助会の輪をもっと広げよう

——新会員の紹介をお願いします——

★2年目の賛助会順調にスタート

皆さんのご協力で設立された賛助会も2年目を迎え、更新された会員も含めてすでに7社（245万円）、個人228名（183万円）が手続きされて順調にスタートしました。

今年は、日本協会の理事の皆さんが率先して会員集めをしていただいており、すでに個人会員は昨年の総数を上回っております。

会員の皆さんも、1人が2人、3人と増やしていただきますと、ハンドボールの輪も2倍3倍と大きくなっていきますので、1人でも多くの方を賛助会員にお誘い下さるようお願いします。

★賛助会の幹事さん公募

ビデオ・ソフトの製作も進んでおりますので、もうすぐご案内できると思います。

会員が増えれば、会員同志の懇親を深めるためのパーティやフェスティバルを開いてはというご意見もあります。どなたかその世話係をして下さる方を募集していますので希望の方は、03－481－2361にお電話を下さい。

★昭和59年度収支決算

昭和59年（1月～12月）の収支決算は下記のとおりです。収支差額の8,258,250円が、日本ハンドボール協会のロサンゼルス・オリンピック出場、その他の強化事業や普及事業に充当されています。

▶収入

◎年会費

○特別個人（55名）	1,245,000円
○普通個人（102名）	1,050,000円
○特別法人（15社）	6,700,000円
○普通法人（1社）	50,000円
	計9,045,000円

▶支出

○印刷費	615,750円
○通信費	24,000円
○免税手数料（体協へ）	147,000円
○日本協会事業へ	8,258,250円
	計9,045,000円

▶60年度会員

◎特別法人会員

東京重機工業㈱、伊藤忠商事㈱、立石電機㈱、本田技研工業㈱鈴鹿製作所、大崎電気工業㈱

※注：現在法人会員数6社

●特別個人会員

斎藤英四郎（日本協会・東京都）、荒川清美、武田喜三、大野金一(同)、武内史衛（日本協会公認会計士）、阿部二郎（日本協会・茨城県）、黒田富郎（日本協会・日野市）、村田弘（日本協会・堺市）、柳井文治（日本協会・下松市）、中沢重夫（日本協会・東京都）、幸村稔（名古屋市）、木下浩次（名古屋市）、大西武三（日本協会・茨城県）、金原至（日本協会・氷見市）、三鴨博（立川市）、幡谷祐一（水戸市）、日野博（北九州市）、北川勇喜（日本協会・横浜市）、安藤純光（日本協会・日野市）、滝口三郎（日本協会・東京都）、平井博道（大阪市）、福島富造（富田林市）、富永邵（日本協会・水戸市）、田中滋章（日本協会・名古屋市）、木下秀男（佐久市）、北原佐久生（長野県）、油井孝一郎（佐久市）、新津真澄（長野県）、柳沢民弥（日本協会・佐久市）、井田萬三郎（浦和市）、乃村正数（坂出市）、中根武彦（日本協会・亀山市）、藤田八郎（日本協会・熊本市）、入江信太郎（日本協会・茨城県）、滝沢武（栃木市）、山田稔（日本協会・藤井寺市）、岡田卓也（東京都）、高田日呂美（日本協会・東京都）

※注：現在個人会員数231名。

スポーツが好き。汗が好き。

笑顔があります。涙があります。
躍動があります。記録への挑戦があります。
チームプレイの和があります。
からだを動かしていると
人生の大切なものがたくさん見えてきます。
新日鉄は、スポーツを通し
心身を鍛える皆様に声援をおくります。



(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第二三八号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
昭和六十年二月二十五日 印刷 昭和六十年三月一日 発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表(481)二三六一
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 大野金一
定価三百五十円
(年間購読料三千三百円)